

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
61051	美術科教育法 I	2単位 後期	2	講義	瑞慶山昇（非）

■テーマ 中学校及び高等学校の美術科教員として必要とされる基礎的な知識の習得

■授業の概要

美術教育に関する美術教育の変遷や、学習指導要領、基礎的な理論について講義やグループワーク等の諸活動を通して学ぶ。

■到達目標

- ・中学校美術、高等学校芸術（美術）の学習指導要領の内容を理解し説明できる。
- ・学習評価の考え方や種類、方法を理解し説明できる。
- ・学習指導案の必要項目と記載内容について説明できる。
- ・表現活動の素材について理解し説明できる。
- ・生徒が主体的に学ぶ授業を工夫することができる。

■授業計画・方法

1. ガイダンス。授業全体計画の説明。
2. 美術教育における基礎的な絵画表現の発達過程の概説。
3. 美術教育の特徴。（「生きる力」と美術科における習得と活用）
4. 美術教育の歴史（明治時代、大正時代、現代の美術教育）の概説。
5. 戦後の学習指導要領の変遷（昭和22年の試案から平成20年の改訂まで）の概説。
6. 学習指導要領（目標、各学年の目標及び内容）の概説。
7. 学習指導要領（指導計画の作成と内容の取扱い）の概説。
8. 評価の種類（診断的評価、形成的評価、総括的評価）の概説。
9. 評価の方法（観察評価、自己評価、相互評価、パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価）の概説。
10. 学習指導案の内容（目標、評価、導入、展開、まとめ）の概説。
11. 表現活動の素材の知識や教材開発の概説。
12. 生徒が主体的に学ぶ授業の工夫。（内発的動機づけと外発的動機づけの理解）
13. 美術の授業における情報機器の有効な活用を考える。
14. 美術館等との連携を考える。（美術館職員や施設設備の活用事例）
15. 授業のまとめ。（定期試験は実施せず期末レポート提出を行う）

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・グループワークでの授業では積極的に討議に参加すること。
- ・中学校学習指導要領解説「美術編」（最新版）を読み込んでおくこと。
- ・高等学校学習指導要領解説「芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編」（最新版）を読み込んでおくこと。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点(60%)、期末レポート(40%) 平常点は授業への参加状況、発表や提出物等で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 特になし

□テキスト 必要な資料（プリント）を随時配布する。

□参考文献

- ・中学校学習指導要領解説「美術編」（最新版）
- ・高等学校学習指導要領解説「芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編」（最新版）